

行政視察等報告書

令和4年10月31日

米子市議会議長様

会派名 公明党議員団
代表者氏名 今城雅子
提出者氏名 矢田貝香織



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	今城雅子、矢田貝香織、津田幸一、徳田博文
期日	令和4年10月19日から令和4年10月21日まで
〔概要〕(年月日・場所・内容) ◆令和4年10月19日 埼玉県加須市「加須市コミュニティバス絆号運行事業について」 ◆令和4年10月20日 ①福島県双葉町「東日本大震災・原子力災害伝承館」見学 ②福島県南相馬市「東日本大震災後の復興状況について」、消防・防災センターと防災備蓄庫見学 ◆令和4年10月21日 厚労省「地域若者サポートステーション事業と学校・自治体の連携について」「就労移行支援事業と障害者就業・生活支援について」	
〔所感〕 視察内容と所感は、別紙添付	
経費	旅費総額 399,026円

視察① 埼玉県加須市

『加須市コミュニティバス 絆号 運行事業』について

【日 時】 令和4年10月19日(水) 14:00~15:30

【場 所】 加須市役所、予約センター

【説明者】 加須市総合政策部 参事 兼 政策調整課長 増田 浩之 氏
// 政策調整課 主幹 川島 正貴 氏

【調査概要】

1. 加須市コミュニティバス「かぞ絆号」導入の経緯について
1市3町の合併時に、バラバラであった公共交通を、再編し速やかに全市域で実施することになり、鉄道も含め政策的に進めるため、政策調整課が所管している。高齢者の移動支援の視点が強く、担当部局との連携の必要性を認識している。
2. 事業費は、国交省の「地域公共交通確保維持改善補助金」を活用している。事業推進のため、地域公共交通会議に埼玉運輸支局からの参加を得ている。
3. 交通業者3社で「加須市コミュニティバス円滑運行協議会」を構成し、市は協議会と協定を交わし、運営補助金を支払っている。
4. 「加須市コミュニティバス利用ガイド」等、資料を用いて3つの運行方式
◇デマンド型乗合タクシー ◇循環バス ◇シャトルバス の説明と共通利用券の説明を受ける。
5. 観光レンタサイクルステーションは市内に5ヶ所あるが、2ヶ所はシャトルバス停留所と一致している。シャトルバスとの併用可能としているも、利用状況は把握していない。
観光レンタサイクルステーションでの乗り捨て可能で、回収はシルバー人材センターに依頼する。
6. 過去にバス事業者が撤退し、加須市にバス交通が定着していない中、利用方法の説明や利用者拡大に努めているところ。
コミュニティバスだけで交通ニーズに応えきれないので、民間バスとの重複路線の解消や、民間バスの終点の延長・隣接市の民間バスの本市への乗り入れの要請など、民間との連携、近隣自治体との連携を図りながら、市民ニーズに対応している。

【所 感】

- 政策調整課での公共交通施策の推進と、事業運営主体「加須市コミュニティバス円滑運行協議会」について注目した。
- 利用者拡大の為の分析から、高齢者の利用者(登録者)拡大への取り組みを社協と連携し市民のもとへ出向いていく姿勢があった。
- 数百メートルの歩行が困難な方もあることから、デマンド交通を加須市はドアトゥドアで実施。デマンド型乗合タクシー 300円・シャトルバス200円・循環バス100円 の共通利用券は、利用者ニーズをとらえたもの。参考にしたい。

視察② 福島県双葉町

『東日本大震災・原子力災害伝承館』見学

【日 時】 令和4年10月20日（木） 10:40～12:00

【場 所】 東日本大震災・原子力災害伝承館

【内 容】

東日本大震災や原子力発電所事故の教訓を伝える事業として、2020年9月にオープンした施設。

基本理念

- 1 原子力災害と復興の記録や教訓の「未来への継承・世界との共有」
- 2 福島にしかない 原子力災害の経験や教訓を生かす「防災・減災」
- 3 福島に心を寄せる人々や団体と連携し、地域コミュニティや文化・伝統の再生、復興を担う人材の育成等による「復興の加速化への寄与」

【所 感】

コロナ禍での開館だったが、目標を上回るペースで、私たち訪問の前日に、伝承館入館者が15万人を突破したとのこと。

発災から11年の今もなお、復興の最中にある被災地に、目的をもって訪問することができ、わずかでも被災者の皆さまの気持ちに寄り添うことができたのではないだろうか。

しかし、伝承館訪問が目的ではなく、地域の復興と、除染で発生した土壌や廃棄物の最終処分までの中間貯蔵施設の現状や、地震・津波などへの備えについて、あるいは今なお続く帰還困難区域の住民の皆さまの現状等を学び続けることが必要だと痛感した伝承館訪問であった。

視察③ 福島県南相馬市

『東日本大震災後の復興状況』について

【日 時】 令和4年10月20日(木) 14:00~16:00

【場 所】 南相馬市役所、 現地視察(消防・防災センター、防災備蓄倉庫)

【説明者】 南相馬市復興企画部イノベ政策課 課長補佐 石川 博之 氏

〃 議会事務局 事務局次長 遠藤 雄二 氏 他

【内 容】

1. 6.2メートルの防潮堤は、震災後7.2メートルに嵩上げ、南北に走る県道を嵩上げし、沿岸部の防災力の向上を図った。
また、各地区で、災害瓦礫を埋めた巾200メートル・高さ2.4メートルの防災林を構築して、一部ではあるが更に高くしているところもある。
2. 市の避難指示区域は、山間部に残っている。解除の見通しについての国の方針はない。空間線量率は下がっており、放射能汚染からの環境回復は進んでいる。
3. 放射性物質モニタリング、公表などは、国の支援を受けて実施している。
空間線量モニタリングは市内268台。希望するすべての家庭・個人への線量計の貸し出しを実施している。(発災前はモニタリング数はゼロ)
飲食による内部被ばく検診も誰でも実施できる。
野菜等は、生涯学習センターに持ち込めば、いつでも測定できる。
4. 7万人のうち6万人が避難したなか、現在も施設・病床数の稼働は少ない。
帰還住民は高齢者が多く、人材不足で稼働できないことも理由としてあげられる。
5. 津波被災農地2,722haのうち、令和3年度までに1,823haが復旧、営農可能。令和4年度までに、さらに95haの復旧予定。
一人当たりの作付面積が、震災前の4倍以上(6.93ha)となっている。
(圃場基盤整備が進んだこととスマート農業の推進、法人化が進んでいる)
6. 地元企業と新たな進出企業の連携を図りながら、「ロボットのまち南相馬」として、ロボット関連産業を中心に更なる発展を目指している。
(二次産業の従業員数は、震災前を超えている)
7. 学校には、スクールカウンセラーや医師・スポーツトレーナー等を配置し、屋内遊び場の確保、肥満率上昇へ対応など取り組んだ。
10行政区で合同訓練、認定こども園中心にした合同訓練を、全世代で実施。
8. 消防・防災センターと、防災備蓄倉庫、現地にて担当者からの説明を受けた。
津波ハザードマップの想定避難者数9,000人の3日分を備蓄。

【所 感】

復興企画部イノベ政策課が編集・発行の「南相馬市の現状と発展に向けた取組」R4.4.に沿って説明をうけたが、震災を乗り越え、100年を見据えたまちづくりに取り組む方々に、尊敬の念を抱いた。

南相馬市に、原子力発電所事故による影響により対応区域による行政運営に差が生じたことでのご苦勞を伺った。合併後5年後の発災であり、旧区での差となったことが、市としての取り組みの苦しさを感じ取った。

原発周辺自治体としての本市の取り組みは、東日本大震災から出発していると痛感した。

視察④ 厚労省

『地域若者サポートステーション事業 と 学校・自治体の連携』について 『就労移行支援事業 と 障害者就業・生活支援』について

【日 時】 令和4年10月21日（金） 13:00～15:30

【場 所】 衆議院第二議員会館

【説明者】 厚生労働省 若年者・キャリア形成支援担当参事官室

佐藤 賢一郎 室長補佐

藤 本 智 樹 若者自立支援係長

厚生労働省 職業安定局障害者雇用対策課 地域就労支援室

小 森 康 正 室長補佐

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課就労支援係

武 井 栄 衛 係長

【内 容】

●地域若者サポートステーションについて

- 15～49才の方の職業的自立に向けた就労支援を実施している。
- 鳥取県労働局は、県内2ヶ所の「わかものサポートステーション」を設置しており、地域企業等と連携しながら、完全オーダーメイドの支援計画を作成している。
- 高校や特別支援学校だけでなく、中学校や自宅等にも訪問する場合もある。
- 職場体験の協力企業の拡大、体験終了後は就労に向けた支援、定着・ステップアップに向けたフォローアップ相談も実施している。
- 必要に応じて、福祉機関等と連携している。

●就労移行支援事業について

- 利用者ごとに、24ヶ月内で利用でき、市町村の審査会が認定すれば+12ヶ月の利用が可能。
- 再利用できる。
- 介護給付・訓練等給付費総額の約2.9%を占め、総費用額が増加傾向。
利用者数全体としては、増加傾向になく、精神障害者の利用割合が増加傾向。全体の6割以上を占めている。（知的障害者の利用者が減少）
- 事業所数は、減少傾向である。事業内容等の見直しが必要と考えている。
- 国保連の令和4年6月実績 ◇事業所数 2984 ◇利用者数 35,974人

●障害者就業・生活支援センターについて

- 障がい者の身近な地域において就業面と生活面の一体的な相談・支援を行う場として、令和4年4月現在、全国に388センターがある。鳥取県には3ヶ所ある。

○令和3年度 全国実績

支援対象者数	:	210,199人
相談・支援件数	:	対象障害者 1,291,475件
	:	事業所 450,831件
就職件数	:	15,832件
就職率	:	78.0%
定着率(1年)	:	81.4%

【所 感】

本市における子ども総本部の設置や、総合相談支援センターの開設と重層的支援体制の推進の中で、今回の調査項目は重要テーマであった。

国・県の相談支援業務従事者、障害者のケアマネジメントにあたるケアマネージャー、本市障がい者支援課をはじめとする支援者に、「障害者就業・生活支援」や「就労移行支援」の取り組みを周知していただきたいと要望した。

本市が、国・県の取り組みとどのように連携を図っていくのか、引き続き調査し、本市の取り組みの充実に努めたい。

行政視察行程（会派：公明党議員団 4名）

月 日	行 程	宿 泊 先
10/19 (水)	7:20 8:40 9:39 10:00 10:09 11:12 11:19 11:30 米子空港 == 羽田空港 ===== 品川駅 == 久喜駅 ===== 加須駅 ANA382 便 京急空港線エアポート特急・成田空港行 JR 東海道本線・小金井行 東武伊勢崎線・館林行	いわきワシントンホテル ☎：0246-35-3000
	加須市行政視察 午後2時00分から午後3時30分まで 【市役所（代表）】 ☎：0480-62-1111 【調査項目】加須市コミュニティバス 絆号運行事業について	
	16:36 16:47 17:01 17:51 18:00 20:15 加須駅 ===== 久喜駅 ===== 上野駅 ===== いわき駅 東武伊勢崎線・久喜行 JR 宇都宮線・熱海行 JR 特急ひたち 23号・いわき行	
10/20 (木)	7:51 8:44 いわき駅 ===== 双葉駅 JR 常盤線・原ノ町行	いわきワシントンホテル ☎：0246-35-3000
	東日本大震災・原子力災害伝承館見学 午前9時00分から午前10時00分まで 【伝承館】 ☎：0240-23-4402 （福島県双葉郡双葉町大字中野字高田39）	
	13:12 13:37 双葉駅 ===== 原ノ町駅 JR 常盤線・原ノ町行	
	南相馬市行政視察 午後2時00分から午後4時00分まで 【議会事務局】 ☎：0244-24-5311 【調査項目】東日本大震災後の復興状況について（消防・防災センター、防災備蓄倉庫）	

	<p>17:29 18:58 原ノ町駅 ===== いわき駅 JR 常盤線・いわき行</p>	
10/21 (金)	<p>8:18 10:42 10:48 10:50 11:03 11:06 いわき駅 ===== 東京駅 ===== 有楽町駅 ===== 永田町駅 JR 特急ひたち6号・品川行 JR 山手線外回り 東京メトロ有楽町線・小手指行</p>	
	<p>厚生労働省行政視察 午後1時00分から午後3時30分まで 【衆議院第二議員会館】 ☎ : 03-3508-7021 (衆議院第二議員会館920号室) 【調査項目】 ①地域若者サポートステーション事業と学校・自治体の連携について ②就労移行支援事業と障がい者就業・生活支援について</p>	
	<p>16:00 16:03 16:16 16:20 16:30 16:48 18:20 19:40 永田町駅 ===== 有楽町駅 ===== 浜松町駅 ===== 羽田空港 ===== 米子空港 東京メトロ有楽町線・新木場行 JR 京浜東北根岸線・大船行 東京モノレール空港快速 ANA385</p>	

旅費計算表

令和4年10月19日 ~ 令和4年10月21日 (2泊3日)

月 日	区 間	鉄道路線 名	区 間 キ ロ 数	目的地まで のキロ数	運 賃	グリーン	急 行 料 金		日 当 宿 泊 料		
							特 別	新 幹 線	議員1,500円	甲 14,800円	乙 13,300円
									随 行 1,100円	10,900円	9,800円
10/19	米子空港 ~ 羽田空港	ANA			28,870				1,500		7,600
(水)	~ 押上駅	京浜急行			555						
	~ 加須駅	東武鉄道			733						
	~ 久喜駅	東武鉄道			251						
	~ 浮間舟渡駅	JR			594						
	上野駅 ~ いわき駅	JR			3,740		2,550				
10/20	いわき駅 ~ 双葉駅	JR			990				1,500		7,600
(木)	~ 原ノ町駅	JR			420						
	~ いわき駅	JR			1,340						
10/21	いわき駅 ~ 有楽町駅	JR			3,740		2,550		1,500		
(金)	~ 国會議事堂前駅	東京メトロ			168						
	永田町駅 ~ 有楽町	東京メトロ			168						
	~ 品川駅	JR			157						
	~ 羽田空港	京浜急行			292						
	~ 米子空港	ANA			29,970						
計	議員旅費			96,788	71,988	0	5,100	0	4,500	0	15,200
	随行旅費			0							

出席議員 今城議員、矢田貝議員、津田議員、徳田議員

公明党議員団（今城議員、矢田貝議員、津田議員、徳田議員） 会派現地視察
 埼玉県加須市、福島県双葉町・南相馬市、東京都衆議院第二議員会館

旅費計算表

令和4年10月19日 ~ 令和4年10月21日 (2泊3日)

月 日	区 間	鉄道路線 名	区 間 キ ロ 数	目的地まで のキロ数	運 賃	グリーン	急 行 料 金				
							特 別	新 幹 線	日 当 宿 泊 料		
									議員1,500円	甲 14,800円	乙 13,300円
10/19	米子空港 ~ 羽田空港	ANA			28,870				1,500		7,600
(水)	~ 押上駅	京浜急行			555						
	~ 加須駅	東武鉄道			733						
	~ 久喜駅	東武鉄道			251						
	~ 上野駅	JR			858						
	~ いわき駅	JR			3,740		2,550				
10/20	いわき駅 ~ 双葉駅	JR			990				1,500		7,600
(木)	~ 原ノ町駅	JR			420						
	~ いわき駅	JR			1,340						
10/21	いわき駅 ~ 有楽町駅	JR			3,740		2,550		1,500		
(金)	~ 国會議事堂前駅	東京メトロ			168						
	永田町駅 ~ 有楽町	東京メトロ			168						
	~ 品川駅	JR			157						
	~ 羽田空港	京浜急行			292						
	~ 米子空港	ANA			29,970						
計	議員旅費			97,052	72,252	0	5,100	0	4,500	0	15,200
	随行旅費			0							

出席議員 今城議員、矢田貝議員、津田議員、徳田議員

議員旅費	97,052 × 2名 =	194,104 円 (津田議員、徳田議員)
議員旅費	96,788 × 2名 =	193,576 円 (今城議員、矢田貝議員)
タクシー代	1,020 × 1 =	1,020 円 (加須市役所 ⇒ 久喜駅)
バス代	350 × 4名 =	1,400 円 (双葉駅 ⇄ 災害伝承館)
入館料	600 × 4名 =	2,400 円 (東日本大震災・原子力災害伝承館)
タクシー代	850 × 1 =	850 円 (原ノ町駅 ⇒ 南相馬市役所)
お土産代 (送料含)	2箇所	5,126 円 (加須市、南相馬市)
取扱料金	550 × 1件 =	550 円
		計① 399,026 円

公明党議員団 (今城議員、矢田貝議員、津田議員、徳田議員) 会派現地視察
埼玉県加須市、福島県双葉町・南相馬市、東京都衆議院第二議員会館